

事業の概況

SECOM

「社会システム産業」の構築に向けた挑戦的な事業展開

日本で初めての警備保障会社からスタートしたセコムは、“あらゆる不安のない社会”を実現するために、さまざまな事業を展開してきました。現在、セコムの事業領域はセキュリティ、メディカル、保険、情報、地理情報サービスなどへと広がっています。

近年、犯罪が凶悪化する中で、お客様の“不安”は不在時の空き巣の侵入から在宅時の侵入に変わってきています。また、2005年4月1日に完全施行された個人情報保護法により、お客様のセキュリティに対する意識が、現金などの財産に加えて情報へと大きく広がっています。

セコムはそのような変化を機敏にとらえて、お客様のニーズに合わせたさまざまなサービス・商品を提供しています。当期も、当社の事業の柱である事業所向け・家庭向けセキュリティ

のサービス・商品の拡販に注力し、業績は順調に推移しました。また、セコムならではのサービス・商品を積極的に提供することで、すべての事業セグメントで前期の純売上高および営業収入を更新しました。海外では、経済成長著しい中国を中心にアジア各国のセキュリティサービス事業を加速させました。

セコムは、企業や家庭や個人にとって安全で便利で快適なサービスシステムを創造し、それらをトータルに提供する「社会システム産業」の構築を企業目標にしています。その企業目標を達成するために、これからも挑戦的に事業を展開し、さらなる成長を遂げようとしています。

ここでは、当期の業績の概況と最近のセコムの取り組み、財務レビューの順にご報告します。



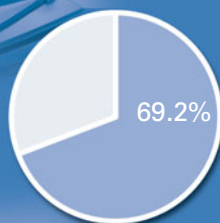
セグメント別 業績の概況

SECOM

セキュリティサービス事業

Security Services

純売上高および営業収入合計に対する割合*
*セグメント間取引を除く。

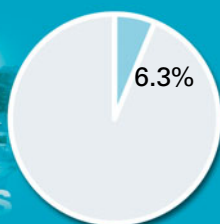


当期のセキュリティサービス事業の純売上高および営業収入は、前期比4.0%増加の3,824億円となり、純売上高および営業収入合計に占める割合は、前期の71.0%から69.2%となりました。その内訳は、事業所向けおよび家庭向けのセントラライズドシステムやローカルシステムからの契約収入2,719億円、常駐警備や現金護送によるその他のセキュリティ契約収入568億円、安全商品およびその他の売上高537億円でした。

● セントラライズドシステム（オンライン・セキュリティシステム）
セントラライズドシステムの仕組みは、ご契約先の建物に侵入・火災・設備異常などをキャッチするセンサーとコントローラーを設置し、通信回線でセコムのコントロールセンターと結んで、コントロールセンターの管制員が24時間365日監視するものです。ご契約先に異常が発生した場合、その情報がコントロールセンターに送信され、管制員が緊急発進拠点の緊急対応員に急行を指示して、適切な処置を行います。また、必要に応じて警察や消防署などへも通報します。

メディカルサービス事業

Medical Services



メディカルサービス事業の純売上高および営業収入は、前期比64.0%増加の347億円となり、純売上高および営業収入合計に占める割合は、前期の4.1%から6.3%となりました。

メディカルサービス事業には、在宅医療関連サービス、遠隔画像診断支援サービス、電子カルテ、医療機器等の販売、有料老人ホームの経営、介護サービス、医療機関向け不動産賃貸などがあります。

保険サービス事業

Insurance Services

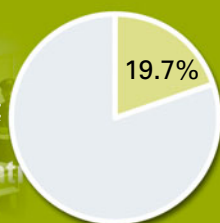


保険サービス事業の純売上高および営業収入は、前期比12.4%増加の265億円となり、純売上高および営業収入合計に占める割合は、前期の4.6%から4.8%となりました。

保険サービス事業では、保険とセキュリティ、医療を融合させた当社ならではの保険商品の開発・販売に努めています。

情報・通信・その他のサービス事業

Information and Communication Related and Other Services



情報・通信・その他のサービス事業の純売上高および営業収入は、前期比3.4%増加の1,088億円となり、純売上高および営業収入合計に占める割合は、前期の20.3%から19.7%となりました。

情報・通信・その他のサービス事業には、サイバーセキュリティや情報ネットワークシステムの運用などのサービスを提供する情報サービス分野、GIS（地理情報システム）を活かした地理情報サービス分野、安心と快適のマンションを提供する不動産開発・販売分野、および不動産賃貸分

セコムでは、セントラライズドシステムの研究開発から機器の製造、営業、設置工事、24時間監視、緊急対処、メンテナンスに至るまで、一貫して自社で行う体制を整えています。その一貫体制が、セコムならではの高品質で信頼性の高いセキュリティサービスの提供を可能にしています。

● ローカルシステム

大規模施設向けの安全システムで、遠隔監視ではなく、ご契約先での監視を基本にした常駐警備員とセキュリティシステムによる防犯・設備監視サービスです。

● 常駐警備

高度な訓練を受けた安全のプロフェッショナルが、人間の判断力や応用力を最大限に活かして警備を行います。

● 現金護送

現金や有価証券などを、特殊車両と安全のプロフェッショナルによって安全・確実に輸送するサービスです。

● 安全商品およびその他

出入管理システム、CCTV（監視カメラ）システム、自動消火システム、屋外・屋内監視システムなど、単体でも機能しオンライン・セキュリティシステムと接続しても利用できる安全商品を販売しています。また、位置情報提供サービスである「ココセコム」も提供しています。

当期も引き続き、事業所向けには、画像監視によるセントラライズドシステム「セコムAX」や、入退室管理にモニター監視機能を付加した汎用性の高い「セコムDX」などのオンライン・セキュリティシステムの拡販に努めました。また、お客様のセキュリティに対する意識が現金などの財産に加えて情報へと広がったことにより、出入管理システムやCCTVシステムの販売も好調でした。家庭向けには、「セコム・ホームセキュリティ」の拡販に努めるとともに、家庭向けの安全商品などを積極的に提案しました。

当期も訪問看護サービスや薬剤提供サービスを中心とした在宅医療サービスの拡充に注力し、順調に推移しました。また、介護付有料老人ホームでは、「ロイヤルライフ多摩」の運営に加えて「セコムフォート」シリーズの建設を開始しました。また、「アライブケアホーム」シリーズの新施設に取り組むなど、事業の拡大を進めました。

当期も、事業所向けの「火災保険セキュリティ割引」、家庭総合保険「セコム安心マイホーム保険」、自動車総合保険「NEWセコム安心マイカー保険」、ガン治療の実費を補償する「自由診療保険メディコム」の拡販に努めました。また、国内大手生命保険会社と提携することで、「自由診療保険メディコム」の販路の拡大を図りました。

野などがあります。

当期、情報サービス分野では、サイバーセキュリティの提供やネットワークシステムの運用などに注力しました。地理情報サービス分野では、行政向けの統合型GIS「PasCAL」や企業向けのエリアマーケティング、出店計画などを支援する「Market Planner」シリーズなどの拡販に努めました。不動産開発・販売分野は、当期もセキュリティを重視した分譲マンション「グローリオ」シリーズの開発・販売に努めました。不動産賃貸分

野では、不動産市況を踏まえ、保有不動産の一部入れ替えを図りつつ、当期も事務所ビルなどの賃貸を中心に事業展開しました。



セキュリティニーズの 大きな変化に対応

近年、治安の悪化が進む中で、お客様のニーズは夜間のセキュリティから昼夜を問わない24時間のセキュリティへと変化しています。セコムは、これまでさまざまな事業所向けセキュリティシステムを提供してきましたが、最近のニーズの変化にいち早く対応して発売したのが、万引きや情報漏えいを防止する「不正持出し監視システム」です。夜間や閉店時のオンライン・セキュリティに加えて、「不正持出し監視システム」を導入することで、お店は開店時の店舗セキュリティも確保でき、24時間シームレスな防犯体制を構築することができます。遠隔画像監視を行う「セコムIX」やCCTV（監視カメラ）システムと連動させることで、ワンランク上の店舗セキュリティも可能です。「不正持出し監視システム」は、お店の損失を防ぐうえで大きな効果があると同時に、犯罪の入口になる

といわれている子供の万引きを抑止する効果も期待できる、社会に有益なサービスシステムです。このサービスは、万引き防止システムのトップ企業と業務・資本提携することで実現しました。

治安の悪化は学校にも及び、学校への不法侵入による凶悪犯罪の影響で、教育現場のニーズも変化しています。セコムはこれまでも遠隔画像監視システムなどのオンライン・セキュリティシステムで学校に安全を提供してきましたが、昨今の犯罪の凶悪化に対抗するために、さらに有効な学校向けセキュリティシステムとして「セコム・スクールセキュリティ」を開発しました。これは位置情報提供サービス「ココセコム」とICタグを一体化させて、「校内の在否確認」と「通学路のセキュリティ」を一体管理するシステムです。校門・通用門に監視カメラや



セコムロボットX



CCTV (監視カメラ)

電気錠と連動したインターホンを設置し、常駐警備員や屋外巡回監視ロボット「セコムロボットX」による敷地内の巡回、不審者への威嚇を行います。セコムは、子供たちが安心して勉強できる「セコム・スクールセキュリティ」を、全国の学校に積極的に提案しています。

セキュリティニーズの変化は、CCTV (監視カメラ) システムの需要が増えていることにも表れています。これまでは商店街などがCCTVシステムを導入したくても、プライバシーの問題が大きな壁になっていました。しかし、犯罪から商店街を守るためにCCTVシステムは不可欠なものとなりつつあり、商店街に来るお客様も「防犯カメラがあるから安心だ」と思うように意識が変化しています。そこで、セコムはプライバシーに配慮したCCTVシステムを商店街に

提案しています。このCCTVシステムは、商店街の事務所内に防犯区画を設け、鍵とカードがなければこの中に設置されたビデオレコーダーの録画映像を見ることができないようになっています。必要なとき以外は映像を見られないようにするこのCCTVシステムは、プライバシーの問題を解決する好事例となり、全国の商店街や公共施設に紹介されています。





セキュリティの 新局面に対応

2005年4月1日から完全施行された個人情報保護法は、お客様のセキュリティに対する考え方を大きく変えました。「うちの会社は盗まれるものがないから」と現金や物品をセキュリティの対象に考えていたお客様が、「情報」も守るべき財産であると考えようになったのです。このようなお客様の変化を反映して、オンライン・セキュリティシステム、出入管理システム、CCTV（監視カメラ）システムなどの需要が増加しています。例えば、人の出入りを厳重に管理したいという理由で、新たな業種が非接触型ICカードや指紋照合システム「セサモIDs」などの出入管理システムを採用するなど、お客様の対象が広がっています。

お客様の意識の変化はセキュリティに新しい局面をもたらし、幅広いお客様からさまざまなニーズが増大する傾向は、今後も続くものと思われれます。セコムは、そのような新局面に対応するために、お客様のニーズを的確にとらえたタイムリーなサービス・商品を開発・提供し、豊富なラインアップでトータルに提供していきたいと考えています。



指紋照合システム「セサモIDs」



美祿市のPFI刑務所

PFIへの取り組み

セコムは、民間資金を活用して社会資本整備を行う、PFI (Private Finance Initiative: 民間資金を活用した社会資本整備) 事業にも進出しています。その最初の事業として、セコムを代表企業とした12社で構成する「美祿セコムグループ」が、PFIによる山口県美祿市の刑務所運営事業を落札しました。

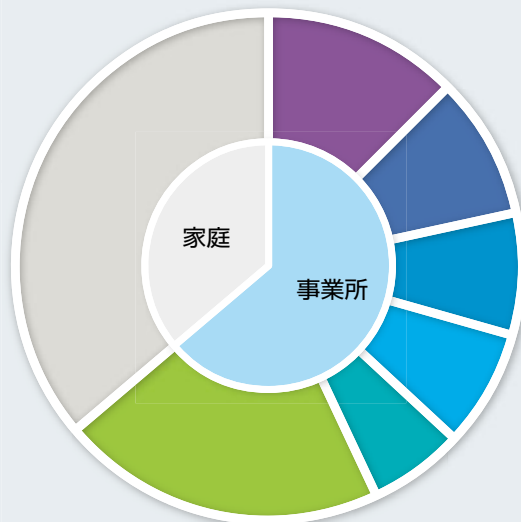
日本初のPFI刑務所となるこの事業は、約28ヘクタールの敷地に初犯受刑者約1,000人を収容する施設を民間資金で建設し、公権力の行使

にかかわる部分を除いて、民間が運営に積極的にかかわります。セコムの業務範囲は、セキュリティシステムや常駐警備、施設の維持・管理、さらには総務業務支援や刑務作業の支援も含まれます。「美祿セコムグループ」が選定されたのは、受刑者護送中の「ココセコム」を利用した施設外での位置確認、遠隔操作が可能な電気錠、CCTV (監視カメラ) 監視など、効率的・効果的な最新のセキュリティシステムが評価されたからでした。

2007年4月からスタートするこのPFI刑務所によって、セコムは新事業の拡大はもとより、受刑者の社会復帰・再犯防止策などの業務を通じて社会に貢献し、地元の雇用を創出することで地域の活性化に寄与していきます。

セントライズドシステムの契約先区分

(2005年 3月31日現在)



■ サービス業	12.5%
■ 小売・卸売業	9.1%
■ 金融機関	7.8%
■ 製造業	7.5%
■ 政府機関	6.1%
■ その他	20.8%
■ 家庭	36.2%



高品質の安全を提供する 「セコム・ホームセキュリティ」

セコムは1981年に日本で初めて侵入・火災・ガス漏れ・急病などを24時間オンラインで監視する「セコム・ホームセキュリティ」を発売以来、ご家庭の安全を見守ってきました。「セコム・ホームセキュリティ」には、24年に及ぶインフラとノウハウの蓄積があり、その質の高い警備力とサービスはお客様から厚い信頼をいただいています。

最近、家庭でも凶悪化する犯罪に脅威を感じるようになったことで、お客様のセキュリティニーズは不在時の空き巣の侵入から在宅時の侵入に変化しています。在宅時の侵入者は数人で押し入り、命の危険にさらされる場合もあることから、お客様の“不安”は切実なものとなっています。そのような“不安”を反映して、ホームセキュリティだけでなく、それを補完する安全商品の需要も増加しています。セコムでは、

「セコム・ホームセキュリティ」に加え、庭先での侵入を監視する「屋外画像監視サービス」や「セコムホームカメラシステム」、玄関ドアから不審者が侵入するのを防ぐ顔検知機能付きの「セキュリフェースインターホン」や家庭用指紋照合システム「セサモホームIDs」、窓ガラスからの侵入を防ぐセンサー付き防犯ガラス「SECOMあんしんガラス」など、ご家庭の安全を守るさまざまな安全商品を販売しており、セキュリティレベルの向上を望むお客様からご好評をいただいています。

また、日本では凶悪犯罪の増加に伴い、ホームセキュリティのニーズがさまざまなご家庭へと広がりを見せています。そのような中で、「安全は高品質でなければならない」と考えるセコムは、一貫してセキュリティの質を追求してきました。ご家庭の“不安”が在宅時の侵入に変化



セコム・ホームセキュリティ



SECOC あんしんガラス



セコムショップ原宿



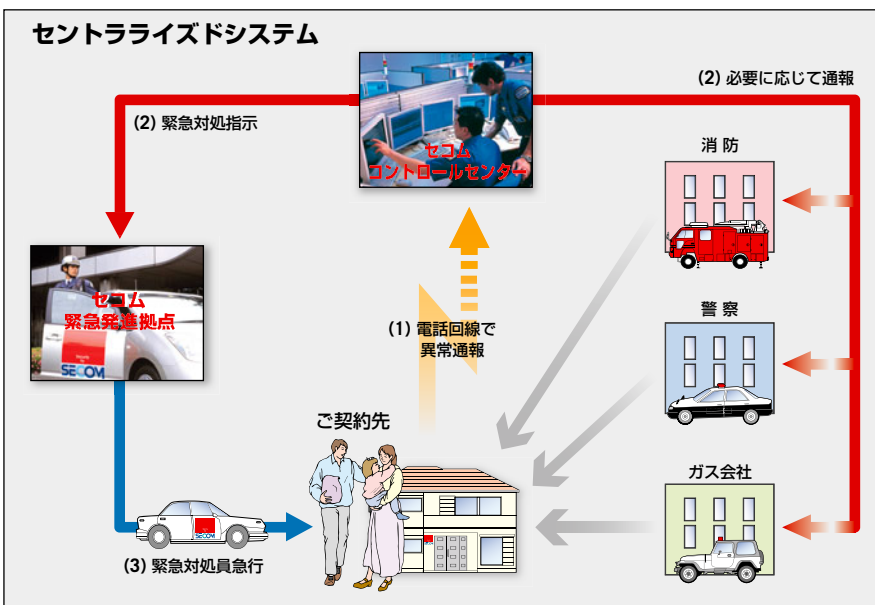
セコム・スーパーレスキュー

している今日、2階の部屋にいるときに人がいない1階の部屋の異常を自動的に通報するようなシステムは、ご家庭の安全に必要不可欠といえます。このようなセコムの「安全」に対する考え方をご理解いただき、「セコム・ホームセキュリティ」のお客様は、マンションにお住まいの一人暮らしの若い女性から30~40代の若い世代、中高年のご家族まで、幅広い層に広がっています。

このような家庭向けセキュリティの販売拠点となっているのが、地域に根ざした“安全情報発信ステーション”の「セコムショップ」です。ここでは「セコム・ホームセキュリティ」や家庭向け安全商品を豊富に取り揃え、お客様に実際に「セコムのある暮らし」を体験していただき、セキュリティアドバイザーがご家庭の「安全・安心」に関するご相談に応じています。今後も「セコムショップ」を順次増やしていくことで販売強化を図ります。

またセコムでは、防犯・防災用品の専門ショップもオープンさせています。東京・原宿のセコム本社ビルに併設の「セコムショップ原宿」内に開店した「セコムセクション」では、約300アイテムの防犯・防災用品を販売しています。「セコムセクション」の狙いは、お客様にセキュリティへの関心を高めていただくことで、セキュリティ導入のきっかけをつくることにあります。そのオリジナル企画第1弾として開発したのが、防災用品セットの「セコム・スーパーレスキュー」です。新潟県中越地震や福岡県西方沖地震などで防災への関心が高まっており、大地震に備えて防災用品の準備を考えている方がたくさんいます。そこで、そのような大地震のときに身を守るツールとして、セコムが厳選した防災用品の決定版「セコム・スーパーレスキュー」を開発しました。これは「いざというとき本当に役立つ」実用性と、「震災後1~2日生き延びられる」機能性を重視した、新しいコンセプトの防災用品セットです。

このようにセコムは販売網を強化・拡大し、家庭の「安全・安心」を守る多様なサービス・商品を提供することで、家庭向けセキュリティ市場を独走しようとしています。





さまざまな役割を担う 「ココセコム」

2001年4月に誕生した位置情報提供サービス「ココセコム」は、セキュリティのフィールドを建物内から屋外へ、そして企業・家庭から個人向けサービスへと大きく広げました。「ココセコム」は、GPS（全地球測位システム）衛星と携帯電話の電波を融合した無線によるネットワーク基盤を構築することで、高品質のサービスを提供しています。条件が良ければ位置情報を検索する誤差はわずか5mという高精度で、現在普及している位置検索技術としては優れたものといえます。サービス開始当初は、人や車、オートバイを対象にしていたが、その後貴金属や現金などを運ぶカバン、金庫、ATMといった物用、ペット用、あるいは車の運行管理や

社員の行動管理ができる「ココセコム・Gマネージャー」など、社会のニーズに応じて次々と商品ラインアップを増やしてきました。

さまざまなサービスの中でも、人用「ココセコム」の契約件数が全体の約半分を占め、その大半が子供と高齢者の方々です。中でも子供を取り巻く環境は悪化の一途をたどっており、登下校中の小学生などを狙った誘拐事件などは大きな社会問題になっています。そこで、このような事件から通学中の子供を守るために発売したのが、「ココセコム」付きランドセル「オリビエナブランド」と、「ココセコム」付き小学生通学服「プレセーブ」です。「ココセコム」付きランドセルは、ランドセルの側面に付いたケース



オリビエナピランド



プレセーブ

に小型の専用端末を入れておくことで、万が一子供の行方が分からなくなった場合でも居場所を調べることができます。「ココセコム」付き小学生通学服は、複数箇所「ココセコム」を装着できるようにすることで、犯罪者に容易に発見されないようになっています。

現在、インターネットのホームページ上では、「ココセコム」利用者による位置検索が1日約4万件行われ、ココセコムオペレーションセンターには1日約300件の位置検索要請の電話があります。ご契約先からの要請に基づき現場急行サービスにより、「ココセコム」はこれまでに数々の事件の早期解決、未然防止に貢献してきました。今や個人のセキュリティに欠かせない存在となっています。





需要が拡大する 在宅医療サービス

“あらゆる不安のない社会”をめざしているセコムにとって、健康への不安を解消することも重要なテーマのひとつです。高齢化が進んでい

安心をお届けする 医療サービス

“あらゆる不安のない社会”をめざすセコムは、“老いることが不安でない社会”をつくる事業にも本格的に取り組み始めています。そのひとつが、介護付有料老人ホーム「セコムフォート」シリーズです。この「セコムフォート」は、すでにセコムが共同経営している高級有料老人ホーム「サクラピア成城」「ロイヤルライフ多摩」、介護専用型有料老人ホーム「アライブケアホーム」シリーズの運営ノウハウに基づきながら、新たなコンセプトで立ち上げました。健康・医療・介護サービスなど、セコムの既存サービスを余すところなく投入し、身体の日々の健康状態を測定・記録しながら介護・病氣予防につながる

る日本では、健康や医療に対する関心が一層高まっています。そのような社会のニーズに応えるために、セコムはよりよい医療の提供をめざして、さまざまなメディカルサービスを展開しています。

セコムのメディカルサービスの柱となっているのが、自宅で療養している患者さんに24時間の「安心」をお届けする「訪問看護サービス」です。セコムが日本で初めて本格的に始めたこの「訪問看護サービス」は、高いスキルと豊富な経験を持った看護師が質の高い看護サービスを提供することで、お客様から高く評価されています。訪問看護師の拠点である医療・介護保険適用の「セコム訪問看護ステーション」は、全国33カ所に拡大しています。

仕組みの開発や、これまで有料老人ホームではあまり提供されてこなかった生きがい支援サポートなどの新しいサービスを提供します。

長寿社会では、健康が最大の関心事です。「自分の健康は自分で守る」意識が浸透する中で、「自分の身体に投資をする」方々が増えていきます。そのような方々のために始めた会員制健康管理サービスが、「セコム健康くらぶKENKO」です。これはセコム医療システム(株)が提携した医療法人あんしん会が東京・四谷に開設したクリニック「四谷メディカルキューブ」で、人間ドックサービスや担当医による健康管理サービスを提供するものです。ガンや脳卒中といった



会員制健康管理サービスで
セコム医療システム(株)と提携する
「四谷メディカルキューブ」



セコムフォート
「コンフォートガーデンあざみ野」



サクラビア成城



セコムAEDパッケージサービス

生活習慣病の早期発見や予防をするために、PET-CTなどの最新鋭・最先端機器を利用した質の高い医療サービスを受けられることで話題になりました。

また、セコムはさまざまな医療機器も販売しています。厚生労働省から病院外での救急医療に有効であるAED(自動体外式除細動器)を活用した救命救急環境の整備を促す報告書が出されたことに対応してサービスを開始したのが、「セコムAEDパッケージサービス」です。心

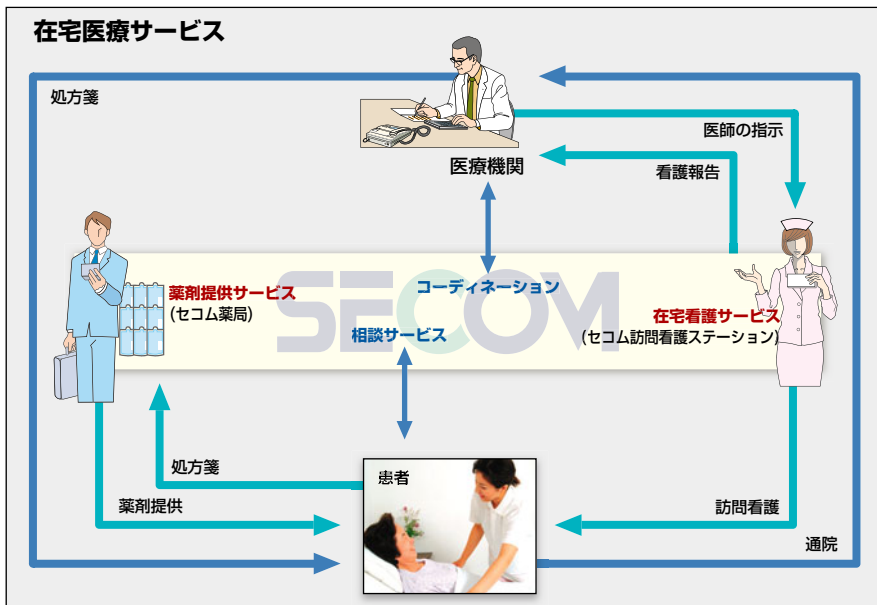
停止を電気ショックで回復させるこのAEDのトータルサービスは、低料金のレンタル方式で、メンテナンスなども充実しています。2004年9月に発売以来、全国の公共施設、スポーツクラブ、学校、ホテルなどへの導入が進んでいます。セコムは、今後も医療機関以外での需要の拡大が予想される「セコムAEDパッケージサービス」を通じて、病院外での心停止による死亡事故の低減に貢献していきます。

病院のIT化にも貢献

セコムは、病院の業務改善やIT化にも貢献しています。セコムは在宅医療サービスなどを中心とするクリニック向けにASP(インターネット)を通じてアプリケーションソフトを利用する

仕組み)方式の「セコム・ユビキタス電子カルテ」を提供していますが、その電子カルテをベースに機能を拡大して発売したのが、中小規模病院向けの新「セコム・ユビキタス電子カルテ」です。これにより中小規模病院は2006年の医療制度改革に向けた体質改善・業務改善を実現し、病院の効率化を実現するIT化も進めることができます。

セコムは、今後もお客様の健康と日本の医療に貢献するメディカルサービス・商品を、開発・拡充していきます。





「メディコム」ナースコールセンター

セコムだから提供できる 独自の損害保険

セコムはグループ内に損害保険会社を持つ強みを活かして、お客様に「事前の備え」から「事後の補償」まで、より万全なサービスを一体的に提供しています。

「火災保険セキュリティ割引」は、セキュリティシステムを導入することでリスクが低減した企業のお客様に対して、保険料を最大約30%割引く火災保険です。同じような考え方でご家庭に提供しているのが、家庭総合保険「セコム安心マイホーム保険」です。これはホームセキュリティをご利用のお客様なら、保険料が割引で加入できる保険です。

また、セコムのメディカルサービスと保険を融合させたのが、ガン治療費用保険の「自由診療保険メディコム」です。この保険に加入すれば、自由診療でも公的保険診療でもガン治療費の実額が補償され、経済的な負担を心配することなく最先端の治療を受けることができます。



ネットワーク監視センター

ますます高まる情報時代の セキュリティニーズ

「フィジカルセキュリティ」と「サイバーセキュリティ」を融合させることで、高度な情報セキュリティをお客様に提供しているのが、セコムの「セキュアデータセンター」です。ここでは常駐警備員が24時間警備し、入退室管理や監視カメラなどセコムが得意とするフィジカル

災害時の情報サービス

「セコム安否確認サービス(e-革新きずな)」は、災害時の企業の事業継続に極めて有効なサービスです。このサービスを利用すると、広域・大規模な災害が発生した際に、現地情報や社員・家族の安否情報を的確に把握して、早期に業務を再開することができます。英語対応の

防犯から暮らし全般まで きめ細かく対応する 「グローリオ・サポート24」

セコムが提供する分譲マンション「グローリオ」シリーズでは、休日・夜間といった管理員不在のときでも、24時間体制のセコムのお客様サービスセンターがご用件をお聞きし、グループの各サービス関連部門に連絡する「グローリオ・サポート24」を提供しています。より速や

セキュリティのノウハウを活かした厳重な安全対策の中でお客様のサーバーをお預かりし、不正アクセス監視やウイルス監視、電子認証サービスなどのサイバーセキュリティを提供しています。セキュリティレベルの高さには定評があり、それは日本を代表する金融機関の電子認証局構築・運用の受託などに表れています。

情報漏えいに対抗する新しいサービスも、次々と提供しています。オフィスの情報漏えい対策を網羅的に行うために大手情報機器メーカーとの協業で開発したのが、「トータルオフィスセキュリティ」です。これはオフィスの入退出管理をはじめとする「フィジカルセキュリティ」、不正アクセスやコンピュータウイルスから情報を守る「ネットワークセキュリティ」、さらに電子データや紙文書の管理まで含めた「ドキュメントセキュリティ」など、オフィスの情報漏えい防止に向けたさまざまなセキュリティ対策を一元的に提供するものです。

システムや「ココセコム・Gマネージャー」を使った位置情報の取得など、セコムならではのサービスを提供することで、テロ対策などの危機管理を重視する大企業や外資系企業、災害発生後も継続して取引先やお客様にサービスを提供したいと考えている企業などに採用されています。

かな対応が可能になることで、居住者に安心で快適なマンションライフを楽しんでいただくことができます。これにより、セコム独自のサービスをお客様に積極的にアピールすることで、マンションの販売促進をさらに活性化させようとしています。



上海 セコム セキュリティ Co., Ltd.の
コントロールセンター

セコムの海外展開

セコムの海外活動は、1978年の台湾進出に始まり、次いで韓国と米国で、その後ヨーロッパではイギリス、オセアニアではオーストラリア、アジアではタイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、中国で質の高いセキュリティサービスを主に提供しています。中でも、台湾の合弁会社「中興保全」と韓国の合弁会社「エスワン」は、それぞれの地域でトップシェアのセキュリティ会社として証券取引所に株式を上場し、台湾や韓国の社会の安全に取り組んでいます。

セコムの海外活動の特徴は、日本で培ったノウハウを活かしながら、セコム方式のセキュリティシステムをその国や地域の状況に応じて、カスタマイズしているところにあります。それにより、セコムのセキュリティサービスは、国や文化の違いを超えて世界のお客様からご好評を得ています。

セコムは、経済成長著しい中国を中心とするアジアの国々でセキュリティの需要が増えているのを大きなビジネスチャンスとし、セキュリティの普及を加速させていこうとしています。特に中国では、1992年に持株会社セコム中国有限公司を設立以来、沿岸主要都市の大連、青島、北京、上海にセキュリティ会社を設立し、2005年7月には、サービス体制を拡充するために深圳市に5番目の拠点を設立しました。